

本規定は、2026年JAF国内競技車両規則第3編第5章スピードB車両規定（一部改造制限追加）に準拠した富士86BRZチャレンジカップ車両規定である。

総則

- 1) 本規則は富士86BRZチャレンジカップに参加するすべての参加者、車両製作に適用され、特に車両の安全確保を目的に定めることとする。
- 2) 全ての車両は、富士86BRZチャレンジカップテクニカルレギュレーションに準拠しなければならない。
- 3) 本編富士86BRZチャレンジカップテクニカルレギュレーションに記載されていない事項に関しモディファイを加えてはならない。

定義

- 1) 標準品：トヨタ自動車及び、SUBARUが該当車両の型式別に予め装着、搭載する部品、あるいは補修部品として設定する部品の総称として「標準品」という。
※トヨタ自動車 DBA-ZN6 4BA-ZN6 と SUBARU DBA-ZC6 4BA-ZC6 が型式別に予め装着、搭載する部品、あるいは修部品として設定する部品を互いの型式に流用することは標準品と扱わない。
※トヨタ自動車 3BA-ZN8 と SUBARU 3BA-ZD8 が型式別に予め装着、搭載する部品、あるいは修部品として設定する部品を互いの型式に流用することは標準品と扱わない。
- 2) 純正品：トヨタ自動車及びSUBARUが販売した当核車両を含む全ての車両に対し、予め装着、搭載する部品、あるいは補修部品として設定する部品の総称として「純正部品」という。
- 3) 交換及び加工：各条項に関わる交換及び加工については以下要領に従うこと。
○：交換及び加工が許される。
△：※に従い一部、交換及び加工が許される。
☒：交換、及び加工が許されない。
- 4) 車検：「車検」とは国土交通省が法規適合検査を行う一般的な車検を言う。
- 5) F・C・C・A車検：「F・C・C・A車検」とは、富士86BRZチャレンジアソシエーションによる富士86BRZチャレンジカップテクニカルレギュレーション適合検査を行う車検を言う。
- 6) T.R.A.：「T.R.A.」はトヨタカーズ・レース・アソシエーションの事を言う。

第1条 参加車両

- 1 JP-1、JP-2、JP-3：トヨタ 86 (DBA-ZN6)(4BA-ZN6) GR86 (3BA-ZN8)
スバル BRZ (DBA-ZC6)(4BA-ZC6) BRZ (3BA-ZD8) TOYOTA FR-S
但し GR86 (3BA-ZN8) BRZ (3BA-ZD8)の ~~JP-1クラスはJP-2の改造範囲~~、JP-2 クラスは JP-3 の改造範囲、~~JP-3クラスはJP-4の改造範囲~~とする。
TOYOTA GR86 Cup Basic (車両型式：ZN8-VPNT8*)と SUBARU BRZ Cup Car Basic (車両型式：ZD8*288)は JP-3 クラスとする。
~~JP-4：トヨタ 86「86Racing」(車両型式：ZN6-VPNT8*)スバル BRZ「RA Racing」(車両型式：ZC6*288)~~
~~※T.R.A.車両規定に定められた車両(クラブマンシリーズ)~~
~~※「*」は、A、B、C、D、E等の記号を表す。~~

- 2 車両の部品を変更または交換したり、いかなる部品を装着し使用する場合にも、使用者の責任において道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合させた状態とし常に適合するよう維持しなければならない。

第2条 車検

- 1 全ての参加車両は、自動車登録番号標を有し、且つ車検有効期限期間を富士86BRZチャレンジカップ開催

当日において取得していなければならない。

第3条 車両の外部

- 1 著しく生産仕様と異なる外観であること。又、著しい損傷なきこと。
- 2 各条項で認められているものを除き、車体まわりに追加・変更等する蓋然性が高く、安全の確保及び公害の防止上支障がない JAF 国内競技車両規則道路交通法第5編細則に定める「アクセサリー等の自動車部品」の取付け、取外し、変更は許される。
- 3 下記部品を装着、交換することができる。ただし、いずれの場合も道路交通法に合意した寸法、角 R を厳守し国土交通省が法規適合検査を行う構造変更及び記載変更を行わなければならない。又、一般に入手可能で販売されている製品のみ装着が許される。

クラス	Fスポイラー	サイドスカート	リアエアロ	Rスポイラー	ボンネット	GTウイング	ミラー
JP-1	○						
JP-2	○	○	○	○	○	○	○
JP-3	△※1	△※1	△※1	△※1	△※1	○	○
JP-4	×						

クラス	Fバンパー	Rバンパー	アンダーパネル	F/Rフェンダー	トランク	ルーフ	ドア
JP-1	○	○	△※2	○	○	○	△※4
JP-2	○	○	△※2	△※3	○	○	×
JP-3	△※1	△※1	△※2	△※1	×	×	×
JP-4	×	×	×	×	×	×	×

※1 車両寸法（ZN6 / ZC6、全長 4270mm、全幅 1795mm、高さ 1340mm を超えてはならない。

車両寸法（ZN8 / ZD8、全長 4265mm、全幅 1775mm、高さ 1310mm を超えてはならない。

※2 同一型式のグレードに設定されている標準品への交換、取付けが及び取外しが許される。

※3 交換及び、取り付けが認められる。ただし車両寸法、全幅 1795mm/1775mm を超えてはならない。

~~※4 当初の形状を変更してはならず、機構が全て作動しなければならない。又、国土交通省が定める法規適合検査を行う構造変更及び記載変更を行わなければならない。左右にサイドバーを装着しなければならない。~~

第4条 ボディ

1 ロールバー

①一般に入手可能な市販の6点式以上の鋼鉄製ロールバーを装着しなければならない。

~~但し、JP-1クラス FIA 及びJ項、格式の溶接ロールバーの取り付けも許される。~~

~~JP-4クラスは T.R.A. 指定のロールバーを使用することが義務付けられる。~~

~~②JP-1クラスは運転席ドア側にサイドバーの装着しなければならない。~~

JP-2及びJP-3クラスについてはサイドバーの取り付けを推奨する。

③アルミ素材のロールバーは禁止する。

④道路運送車両法、保安基準に準じた形状とする。

2 補強バー

①ボディ剛性の向上を目的とした一般に入手可能で販売されている製品でエンジンルーム及び車室内又は、下廻りへの取り付けは自由。当初車体に標準装着されていたものと交換及び取外しも許される。

ただし、全ての部品は車両外観から出てはならない。

3 板厚

①車両の全ての車体パネルは常に基本車両の当初の材質および厚さと同一でなければならない。

(±10%の許容公差を認める。計測は平面もしくは大きな半径を有する部分で行われる。)

②ボディ加工の制限

4 下記項目以外のボディ加工は一切を禁止する。

①ホイールアーチのフランジ部はタイヤとの接触を避けることを目的とした内側への折り曲げ及び、フェンダー取り付けに伴う最小限の加工は許される。又、合成樹脂の場合、その部分を最小限切除することができる。

②ロールバー、消火器、シートベルト取付けのための必要最小限ボディ加工は認められる。

③リアトランクへのリアスポイラー又はウイング取付け穴加工は認められる。

④第3条で定めた外部部品の交換もしくは装着するための最小限の加工が認められる。

⑤フロントバンパーホースメント及びリアバンパーホースメントを取り外してはならない。

⑥車体の補強は、使用される材料が当初の形状に沿いそれと接触していれば許される。複合材による補強は片面にのみ許される。補強によって標準品の取り付けに影響があってはならない。

5 下記の通り乗車定員を決定する。

クラス	乗車定員
JP-1	2名以上
JP-2	2名以上
JP-3	4名以上
JP-4	×

※ 定員変更は国土交通省が定める法規適合検査行う記載変更を行わなければならない。

第5条 灯火類

全ての灯火類（前照灯／尾灯／制動灯／方向指示灯）は正常に作動しなければならない。

道路運送車両の保安基準に適合するものへの交換及び方向指示灯の位置を当初の位置から変更することが許される。

第6条 窓ガラス

1 フロントウィンドウは合わせガラスを常に備えていなければならない。

2 フロントドアガラスは標準品を使用しなければならない。

3 クォータウィンドウガラス及び、バックウィンドウガラスは標準品を使用しなければならない。

第7条 エアコン

クラス	A/C システム	エアコンベルト	A/C コンデンサー
JP-1	○	○	○
JP-2	△※1	○	△※1※2
JP-3	△※1	○	△※1
JP-4	×	×	×

※1 エアコンの取り外しはできない。但し、当該自動車製造者が販売出荷時に取り付けられていない車両は認める。

※2 交換及び、加工は許されるが取り外しはできない。

第8条 後方視界

1 1つのルームミラー及び2つのサイドミラーを装着しなければならない。

第9条 シートベルト、FHR システム

- 1 既設の3点式安全ベルトを変更することなく、FIAテクニカルリストに記載のあるFHR専用6点式安全ベルト等に取り付けられているラックを用い容易に安全ベルト取付け装置に着脱できる構造の6点式安全等を追加装備すること。
- 2 6点式安全ベルト等は競技走行中のみ装着することが許される。したがって、それ以外の通常走行時は既設の安全ベルト（3点式）を装着すること。
- 3 運転席側に6点式のシートベルトを装着しなければならない。また、取り付けに際しては十分な強度を確保すること。外観上、傷などが無いこと。
- ~~4 シートベルトの幅は3インチ以上推奨とする。但しバックルはクイックリリースシステムタイプのものを使用すること。~~
- 5 FIA 公認のタグが付いている物は有効期限内のシートベルト（フォーミュラ用は使用できない）を使用する。
- 6 頭部および頸部の保護装置（FHR システム）の装着が義務付けられる。尚、装着にあたっては、2026年 JAF 国内競技車両規則第5編「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則10. 頭部および頸部保護装置」に合致すること。

第10条 内張り

- 1 自動車検査書に記載された定員が乗車し車室内の見える範囲の部品は排除することができない。但し、安全を考慮した同等の一般に入手可能で販売されている製品のみ交換が許される。
- 2 下記に記載されたものは取り外しができる。
 - ①フロアマット類及び、アンダーコート
 - ②ネジ等のカバー類
 - ③定員乗車以外の内装類
 - ~~④JP4クラスは変更は許されない~~

第11条 ペダル類

- 1 安全性、操作性を向上させる目的でペダルパッドを変更することは許される。ペダル剛性向上のため、マスターシリンダーまたはマスターバックに対してのみ、ロッドおよびプレートをボディ構造部へ連結するという簡易補強が許され、ストラットタワーバーと一体化することも許される。
- ~~JP4クラスは変更は許されない~~

第12条 牽引フック

- 1 車両の前後に牽引フック（牽引穴あきブラケット）を装着しなければならない。
- 2 牽引フックは、その取り付け部も含めて車両を牽引して移動するために必要十分な強度を有していなければならない。
- 3 牽引フックの仕様は下記要件を満たしていなければならない。黄色・オレンジ色、あるいは赤色に塗装されていること。
- 4 可倒式牽引フックまたはスリング式の物の使用を強く推奨する。共に色は黄色、オレンジ色、あるいは赤色に塗装されていること。
- ~~5 JP4クラスはフロント側、リヤ側共にT.R.A.指定部品を装着しなければならない。~~

第13条 シャーシー

- 1 サスペンション ~~JP4も同じ~~
最低地上高は、90mmでなくてはならない。

サスペンションレイアウトの変更は禁止する。

ショックアブソーバー（B規定準拠）：材質を含み自由。ただし、カーボン材は使用出来ない。

作動原理及び車体への取付け位置は変更しないこと。

①形状、減衰力を変更することができる。

②車高調整機構（ネジ式、Cリング等）を伴うものに変更（使用）すること、並びにスプリングの受皿を変更することができる。調整ダイヤルによる減衰力の変更が許される。（遠隔操作を除く）

③調整式アッパーマウントに交換及び、材質の変更ができる。ただし、車体取付け部の改造は許されない。
スプリング（B規定準拠）：変更することができる。ただし下記に従うこと。

イ 数は変更しないこと。（ヘルパースプリングの使用が許される）

ロ ばねに損傷があり、左右のばねのたわみに著しい不同がないこと。

ハ 溶接、肉盛又は加熱加工を行わないこと。

ニ ばねの端部がブラケットから離脱しない（遊びがない）こと。

ホ 切断等によりばねの一部又は全部を除去しないこと。

ヘ ばねの機能を損なうおそれのある締付具を有さないこと。

ト ばねの取付け方法はその機能を損なうおそれのないこと。

2 サスペンションメンバー（B規定準拠）

サスペンションメンバーの交換はできない。但し、サスペンションメンバー本体の強度向上のための補強はできる。

但し、ジオメトリーの変化が伴う加工は禁止する。又、サスペンションメンバースペーサーの装着は許される。

~~JP-4クラスは一切認められない~~

3 タイヤハウス内（インナーフェンダー）の取り外しができる。

~~JP-4クラスは一切認められない~~

4 サスペンションリンクとブッシュ

①下記項目以外の加工及び交換を禁止する。

~~JP-4クラスはT.R.A.認定部品のみ使用が認められる。~~

クラス	Fロワームブッシュ	Fロワーム	リアラテラルリンク前	ブッシュカラー	ピロボール	その他ブッシュ
JP-1	○	△※2	○	○	○	○
JP-2	○	△※2	○	○	○	○
JP-3	△※1	×	△※1	○	△一部可※4	△※1
JP-4	△※6	×	×	×	×	×

クラス	リアアッパーアーム	リアトレーディングアーム	リアラテラルリンク	スタビライザー	スタビリンク
JP-1	△※	○交換可	○交換可	△※5	○ピロ可
JP-2	△ブッシュ部のみ可	○交換可	○交換可	△※5	○ピロ可
JP-3	×※1	×※1	○交換可	△※5	○ピロ可
JP-4	×	×	×	×	×

クラス	ステアリングラックエンド	ボールジョイント
JP-1	○ピロ可	○交換可
JP-2	○ピロ可	×
JP-3	×	×
JP-4	×	×

- ※1 強化ブッシュへの交換は許されるが標準での純正装着を除きピロボールへの入れ替えは許されない。
- ※2 純正部品を使用すること。切断及び、加工は許されないが強度の向上を目的に最小限の補強が許される。又、強化ブッシュ及び、ピロボールへの交換のみ許される。
- ※3 標準品を使用すること。切断及び、加工は許されないが、ブッシュのみ強化品に交換する事ができる。
- ※4 トヨタ自動車及び、富士重工業が該当車両の型式別に予め装着している標準品同士の交換及び取り付けが許される。
- ※5 取付けはボルトオンによるものとし、車室内から調整可能であってはならない。
- ~~※6 T.R.A. 認定部品の使用が認められる。~~

第14条 ブレーキ

- 1 倍力装置の位置、外観形状及び内部構成部品は維持及び標準品を使用すること。
- 2 マスターシリンダーを直接作動させるための変更は許されない。
- 3 ABS(アンチロックブレーキシステム)は取外し及び機能を停止させてはならない。又、標準品を使用すること。
- 4 ブレーキ冷却ダクトの装着は認められるが、全ての部品が車両外観から出てはならない。
~~JP-4クラスのブレーキダクトはT.R.A.指定部品の使用が義務付けられる。~~
- 5 下記項目以外の加工及び交換を禁止する。

クラス	ブレーキホース	ブレーキパッド	ブレーキキャリア	ブレーキローター	マスターシリンダー ストッパー
JP-1	○	○	○※1	○※1	○
JP-2	○	○	○※1	○※1	○
JP-3	○	○	○※1	△※1※2	○
JP-4	△※3	○	×	×	×

- ※1 カーボン製ブレーキローターは禁止する。
- ※2 ローター径は360mm以下とする。
- ~~※3 ボルトオンにて装着可能な物に限り変更が許される。~~

第15条 消火装置 消火系統

消火器：1. 5kg以上の手動消火器の取付を強く推奨する。

第16条 駆動系統

- ①トランスミッション及びコントロールレバー：純正部品を加工することなく使用しなければならない。
- ②デファレンシャルキャリアASSY：純正部品を加工することなく使用しなければならない。
- ③ステアリングナックル及びリアアクスルハブは純正部品を加工することなく使用しなければならない。
- ④OILクーラー取り付け及びキャッチタンク取り付けのための最小限の加工が許される。
~~⑤JP-4クラスはOILクーラー、キャッチタンクの取付は認められない~~
- ⑥下記項目以外の加工及び交換を禁止する。
- ⑦GR86(3BA-ZN8)、BRZ(3BA-ZD8)に限りオプション設定をされているGRクロスミッションAssyとGRクロスミッションの構成部品の使用を許可する。

クラス	トランスミッションギア	LSD	ファイナルギア	クラッチ	フライホイール	アクスルハブ	プロペラシャフト
JP-1	△※1※2	○	○	○	○	△※4	×
JP-2	△※1※2	○	○	○	○	×	×
JP-3	×	○	△※3	○	○	×	×
JP-4	×	△※5	×	△※6	×	×	×

- ※1 トランスミッションギアレシオの変更は許されるが、標準品クラッチハウジング及びトランスミッションケースを加工することなく取り付けなければならない。
- ※2 シフトパターンの変更は許されない。
- ※3 同一型式のグレードに設定されている標準品及び、通称減速比4.3又は4.5ファイナルギアの交換が許される。
- ~~※4 アタスルハブのP・C・Dの変更を目的とした加工及び交換が許されるが変換スペーサーは禁止する。~~
- ~~※5 T.R.A. 認定部品の使用が認められる。~~
- ~~※6 変更は自由。但し、シングルタイプに限り、変更が認められる。また、クラッチホースについては、ボルトオンにて装着可能なものに限り変更が認められる。~~

第17条 ホイール

- 1 一般的に市販されているJWLもしくはVIAマークの付いたものを使用しなければならない。
- 2 センターロック式ホイールの仕様は禁止する。
- 3 ホイールスペーサーの取り付けは禁止する。
- 4 下記項目によりホイールサイズを制限する。

クラス	サイズ
JP-1	最大19インチ
JP-2	最大18インチ
JP-3	最大18インチ

~~JP-4クラスはT.R.A. が定めたサイズを使用しなければならない。~~

第18条 タイヤ・タイヤメーカー ブランド 使用が禁止されるタイヤ

- 1 Sタイヤと判断されるタイヤの使用はできない。前提として2026年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)を適用し、UTQGのTREAD WEAR 200以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤも適用とする。し詳細などはT・R・Aにて制定しF・C・C・Aにて公示する。

タイヤメーカー ブランド 使用が禁止されるタイヤ

- ・住友ゴム工業(株) DIREZZA MOTOR SPORT(ON ROAD・DIRT&RALLY・RACING・VINTAGE) タイヤおよびSPORT タイヤ銘柄のうち、β02、β10、β11
- ・(株)ブリヂストン POTENZA POTENZA RE- に続き、数字と特定の記号(S、D)の組合せで製品名が構成されているタイヤ(例: RE-11S・12D)
- ・TOYO TIRE(株) PROXES 製品名にR888を含むタイヤ(例: R888・R888DRIFT)
- ・横浜ゴム(株) ADVAN A048 / A050 / A08B
- ・NANKANG RUBBER TIRE Sportnex CR-S ※TW=200標記ですがSタイヤ相当以上のグリップと判断。上記以外のメーカー(海外含む)ラリータイヤ、レース専用タイヤ、セミレーシング(通称S)タイヤ、縦溝のみのタイヤ、86/BRZレース等対応のカタログ上で1サイズのみタイヤ(β05・β06・09D等)は基本使用不可。

ただし、タイヤサイドにUTQG(TREAD WEAR)200以上の数字の記載があり、競技当日の車検で確認出来れば使用可とする。

上記に当てはまらない新製品・明らかに標記よりグリップ・摩耗が激しいタイヤに関しては判断基準に従いシーズン途中であっても猶予期間を待たずに使用を禁止する場合がある。

- 2 ダンロップ DIREZZA β02、β05、β10、β11は使用できないが、215/45-17、205/55-16サイズのみ使用ができる。

~~3 ヨコハマ ADVAN A052は使用できないが205/55-16サイズのみ使用ができる。~~

- ブリヂストン POTENZA RE-12D、RE-12D TYPEA、RE-08D、RE-09D、RE-05Dは使用できないが215/45-17、205/55-16サイズのみ使用ができる。
- コンプリートホイール（タイヤとホイール）のセンターより上方はホイールアーチにより効果的に覆わなければならない。
- 下記項目によりタイヤサイズを制限する。

クラス	サイズ
JP-1	最大幅265
JP-2	最大幅265
JP-3	最大幅265

~~JP-4クラスはT. R. A. (クラブマンシリーズ) が定めた銘柄、サイズを使用しなければならない。~~

第19条 最低重量制限

- 最低重量を下回ってはならない。最低重量とはドライバー重量（装備込）を含むものとする。
- この重量は出走可能状態で、各種潤滑油、冷却水を満たし、燃料とドライバー（装備込）を含むものとする。大会中はいかなる時でも最低重量を下回ってはならない。
- 計量時のガソリン量は問わない。
- 規定の重量を下回った場合は失格とする。
- 予選後及び、決勝レース後、車検場で車両重量計測が実施される。車両は重量計測が終わるまでの間、オフィシャル以外の者が車両に触れてはならない。
- 下記項目によりドライバー重量を含む最低重量を決定する。

クラス	サイズ
JP-1	1220Kg
JP-2	1240Kg
JP-3	1260Kg

但し GR86 (3BA-ZN8)、BRZ (3BA-ZD8) は各クラス +75Kgとする

~~JP-4クラスはT. R. A. が定めた最低重量~~

最低重量を満たすためバラストを搭載することは認められるが、固体であり1個に対して少なくとも8mm以上のボルト3本と、鋼鉄板で最少厚さ3mm及び最少面積40cm²以上の鋼鉄板により車体とサンドイッチ構造にすること。

第20条 エンジン

- 過給機の装着は禁止する。
- ナイトロオキサイド（亜酸化窒素）などの使用および、その装置を搭載することを禁止する。
- エンジンマウントの位置の変更は禁止する。
- ピストンは純正品を使用しなければならない。最大排気量は出荷時と同じ排気量に準ずる。
- 筒内噴射インジェクター及び、高圧側フューエルポンプASSYを含むフューエルシステムの作動原理の変更は許されない。但し筒内噴射インジェクター及び、ポートインジェクターの交換は許される。
- 下記項目以外の加工及び交換を禁止する。

クラス	オイルパン	サーモスタッド	オイルフィルター	エアクリーナー	エンジンO/H	ヘッドガスケット	オイルポンプ
JP-1	○※2	○	○※3	○	○※1	○	△※5
JP-2	○※2	○	○※3	○	○※1	○	△※5
JP-3	○※2	○	○※3	△※4	×	×	×
JP-4	×	○※19	○※3	△※18	×	×	×

クラス	バルブスプリング	バルブ及びシート	カムシャフト	コンロッド	ピストン	シリンダーヘッド
JP-1	△※6	△※7	○	○	△※10	△※11
JP-2	△※6	△※8	×	△※9	△※10	△※12
JP-3	×	×	×	×	×	×
JP-4	×	×	×	×	×	×

クラス	吸気系スロットルボディ	インテーク	プーリー	クランク	その他補機	冷却系
JP-1	○	○	○	△※15	△※16	△※17
JP-2	△※13	△※14	○	△※15	△※16	△※17
JP-3	×	×	×	×	×	△※17
JP-4	×	×	×	×	×	×

※1 補修目的として、当該自動車製造者が当該エンジンの補修用として設定している部品を使用する場合は、(第1編第3章1. 9)の気筒容積別クラスを超えないこと。

※2 オイルパンの交換及び外観変更は許されない。ただし、エンジンオイルの片寄り防止、及びオイルクーラーフッティング取り付け、あるいは温度センサー取り付けのための最小限の加工が許される。又、作動原理を変えなければオイルストレーナーの位置を変更することも許される。

※3 オイルフィルターは自由。ただし、取付け位置の著しい変更は許されない。

※4 エアフィルターは自由。ただし、エアフィルターBOXは当初のままでなければならない。ただし、フィルターボックス全部に位置するダクト及びパイプ、あるいはスロットルボディ間のレゾネーターを取り外すことができる。ただし、取り外した後の穴は完全に塞がなくてはならない。

※5 シム及びスペーサーによる油圧の調整に限り加工が許される。

※6 当該自動車製造者の定めた数と取付け部を変更することなく取り付けられることを条件に他のものと交換することが許される。

~~※7 バルブガイド及び、バルブシートは純正部品に限り交換及び加工が許される。~~

※8 バルブガイド及び、バルブシートは標準品を使用すること。

※9 コンロッドは純正品を使用しバランス調整のみ許されるが、それぞれ1個が未加工品であること。

※10 ピストンは純正品を使用しバランス調整のみ許されるが、それぞれ1個が未加工品であること。

~~※11 純正部品を使用すること。但し、燃焼室及びポート形状の変更は許される。~~

※12 純正部品を使用すること。燃焼室及び、ポートの形状は平削りによる変更のみとし、バルブシートによる形状変化が有ってはならない。

※13 ビックスロットル加工及びビックスロットルへの交換は認められるが作動原理の変更、スロットル数の変更は認められない。

※14 インテークマニホールドは標準品を使用しなければならない。ただし、スロットル取り付けを含む容積調整の為のアダプターの取り付けが許される。又、取り付けの為の最小限の加工が許される。

※15 クランクシャフトは標準品を使用すること。ただし、バランスを調整する目的の最小限の加工が許される。

※16 オルタネーター及び、スターターは保持されること。

※17 自由。ただし、冷却は空気による熱交換のみとし、いかなる部品も車両外観部よりはみ出してはならない。

~~※18 T.R.A.認定部品へ変更が許される。~~

~~※19 変更および取り外しは認められる。但し、取り付け部の加工は認められない。~~

~~※JP4クラスのエンジン本体はトヨタテクノクラフト(株)TRDにより封印されたものを搭載していなくてはならない。また、エンジン本体および封印に対する加工・変更等の改造は許されない。~~

第21条 オイルキャッチタンク

- 1 すべての車両はオイルキャッチタンクを使用しなければならない。
- 2 取り付けに際しては強固に固定されていなければならない。

~~※JP4クラスは除く~~

第22条 電気系統

- 1 ECUはプログラムの変更及びスピードリミッター解除のみの機能を有したものの装着は許される。ECUをASSY交換するもの（通称：フルコンピューター）や純正の制御を変更する機能を有したもの（通称：サブコン）の装着は許されない。下記項目以外の交換及び改造を禁止する。

クラス	スピードリミッター解除	プログラミング変更	ECU交換	サブECU
JP1	○	○	×	×
JP2	○	○	×	×
JP3	○	○	×	×
JP4	○	○	×	×

2 バッテリー

取り付け位置の変更はできない。ただし、バッテリーの交換及び、変更は自由

~~※JP4クラスは寒冷地仕様車は、搭載バッテリーを標準車搭載バッテリー（取り付けステー、ターミナル端子含む）もしくは本体外寸が標準車仕様と同等の物に変更することは認められる。~~

~~その他の車両に関して、本体の変更は認められるが、本体外寸は当初の物と同等でなくてはならない。~~

第23条 燃料タンク

- 1 純正燃料タンク使用すること。またコレクタータンクの装着、使用は禁止する。

第24条 排気系

- 1 変更または交換したり、いかなる部品を装着し使用する場合にも、道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合していること。
- 2 下記項目以外の交換を禁止する。

クラス	リアマフラー	エキゾーストマニホールド	センターパイプ及び第2触媒
JP1	○	○	○
JP2	○	○	○
JP3	○	○	○
JP4	○	×	×

※一般に市販される車検対応スポーツキャタライザー及びマフラーを使用する場合は、J.M.P.A 車検時にキャタライザー及び、の排気ガス検査証明書のコピーを車検員に提示しなければならない。

排気ガス検査証明書は同一型式車両のみ適用・製品番号が一致しなければならない。

第25条 期限付き特別規則

- 1 本規定は、2026年JAF国内競技車両規則第3編スピード車両規定 第7章スピードB車両規定（一部改造制限追加）に準拠した富士 86BRZ チャレンジカップ車両規定であるが以下のものについて期限付きで使用を認める但し、大会終了後の再車検までに変更または交換し、道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合していること。

クラス	G Tウイング	ホイール	タイヤ	排気系
JP-1	○※1	○※2	○※2	○※3
JP-2	○※1	○※2	○※2	○※3
JP-3	○※1	○※2	○※2	○※3

- ※1 第3条に追加しG Tウイングは当時車両である全長、全幅、全高寸法から如何なる部分も超えてはならない。
※2 第17条に追加し、突起及び回転部分の突出については、直進状態をとった場合に、車軸の中心から上方に交わる部分の車体が走行装置の回転部分（タイヤ、ホイール）より突出していること。
※3 第24条に追加し各排気パーツは道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合しなければならないが、各、適合品同士の組み合わせは自由とする。但し、F・C・C・A 車検時及び、レース後にF・C・C・A が定める各測定値を超えてはならない。

第26条 遵守事項

参加者、及び競技責任者は、F・C・C・Aにて車両又は、車両部品について競技参加拒否の判断が下されることがあることを承知していなければならない。これにより車用又は、車両部品が拒否された場合は、新たに変更及び交換し承認を受けない限り、参加が認められないものとする。

第27条 F・C・C・A ブルテン

F・C・C・Aはシーズン中における規則の追加、訂正、修正などが生じた場合には、F・C・C・Aブルテンとして公示される。

又、規則の反映時期についてもブルテンにより公示される。

第28条 ナンバープレート（自動車登録番号標）

・大会中において如何なる場合にも前面及び背面ナンバープレートの取り外しは許されない。

但し、前面ナンバープレートの位置をエンジン冷却を目的に移動することが許されるが当核位置は道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合させた状態でなければならない。

第29条 燃料及び給油について

使用する燃料はJAF国内競技規則第3編スピード車両規則第1章一般規定第8条（8.1）燃料（燃料は石油会社で生産され通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている潤滑油以外のいかなる添加物を含まないガソリンでなければならない。）

第30条 部品の流用

GR86（3BA-ZN8）、BRZ（3BA-ZD8）に限り86（DBA-ZN6・4BA-ZN6）とBRZ（DBA-ZC6・4BA-ZC6）の部品を流用することを許可する。

第31条 ネット

運転者側窓の開口部から外部に突出することを防ぐため、下記仕様に従ったネットをロールケージに取り付けて

使用~~しなければならない~~。することを強く推奨する。

- ・帯の最小幅 : 19mm
- ・網目の最小寸法 : 25×25mm
- ・網目の最大寸法 : 60×60mm

範囲：ステアリングホイール中心より後方のフロントサイドウインドウを覆うものとする。

もしくは、FIA 規格 8863-2013 (テクニカルリスト No.48) に記載しているものを使用しなければならない。

(※2025年度は推奨とする。)